

【1 分解説】同人誌とは？

総合調査部 政策調査グループ 研究理事 重原正明

同人誌とは、本来は同人と呼ばれる、同じ志や趣味を有する人たちが、互いにお金を出し合って自主的に発行する刊行物のことです。今日では個人発行のものも含め、自主的な簡易製本の発行物を広く同人誌と呼ぶことも多いです。

同人誌の多くは印刷によるものであり、近代的な印刷が普及した明治初期まで同人誌の歴史は遡れます。一般には明治 18 年に始まった我楽多文庫が最初の同人誌と言われます。明治 7 年より発刊された学術総合雑誌である明六雑誌に同人誌の性格を見る人もいます。

現在は漫画やアニメ関係の同人誌が盛んですが、文芸作品を集めた同人誌や演劇・パソコンなどの趣味の同人誌もあります。俳句や短歌の雑誌は一部の商業誌を除いて多くが同人誌として刊行されています。

同人誌は、出版社が事業として発行する商業誌に比べて、自由な表現ができる面があり、それが作る側にも読む側にも魅力となっています。ただし公に配布・販売される同人誌には、商業誌と同様に、著作権法などの法令が適用されます。また同人誌の内容について社会的な規範との関係が問題になることも生じています。同人誌を作る側のモラルや社会での開かれた議論により、社会性と表現の自由のバランスが保たれ、活力のある表現の場が維持されることを期待します。

関連レポート

・「ここが知りたい『著作権とライブラリ～複製技術と知財戦略～』」(2024 年 9 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/377701.html>

・「【1 分解説】2.5 次元とは？」(2023 年 12 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/298065.html>